

平成 29 年度 第 4 回 COC 実施本部会議 議事録

平成 29 年 9 月 20 日 (水)

15 : 43 ~ 16 : 12

場所 : 本部大会議室

出席者 : 清水学長、齋藤教育開発センター長、橋本学生部長、大島研究開発推進センター長、西谷事務局長、木村企画部長、森地域連携推進担当課長、山村学生支援部長、中井教務担当課長

【議 題】

1. 平成 29 年度 C L L 活動について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

C L L 活動参加学生 (学校行事参加者) を新たに追加する。

・「玉城町玄甲舎プロジェクト」1 名 :

歴史的建造物である玉城町指定文化財旧金森家別邸「玄甲舎 (茶室)」の歴史・文化的背景を学び多世代交流拠点として利用計画策定を検討する。

・「みえ食旅パスポート利用促進プロジェクト」1 名 :

三重県内周遊を促進し観光消費額の増加を図るためのツールとして「みえ食旅パスポート」を発給。課題としては若年層の利用率が低いため、その現状の把握とパスポートの企画検討をし利用促進の取組を展開する。

・「みんなの声を聞くには? プロジェクト」1 名 :

伊勢市を中心として、議会のさらなる広報及び広聴機能の充実を図る必要があり、若年層の地域行政等への関心を持ってもらうために次代を担う世代に政治参加のきっかけと意識高揚を促す取組。

・「伊勢市地域福祉計画・活動計画に関するリサーチおよびコミュニケーション」16 名 :

様々な地域福祉活動について進捗状況を確認しながら地域で取り組まれている活動場所に出向き参加者や活動者へ状況をインタビュー調査する。集めた情報で新たな支援メニュー等の開発も含めて課題解決に向け次期計画に反映させる。

平成 29 年 9 月 20 日時点で、C L L 活動数は 25 活動、参加人数は延べ 225 名である。

審議の結果、異議なく了解された。

2. その他

特記事項なし

【報 告】

1. 第 3 回本事業取組内容公表シンポジウム報告

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

9 月 10 日 (日) に COC 事業のシンポジウムを記念館にて開催した。参加者 87 名。今年度は C L L

活動が盛んになってきているので、この活動を通じて学生たちがどのように課題解決に取り組んだかを中心に報告を行った。

Ⅲ部の「パネル交流会」は学生主体で行われ、参加者がそれぞれの活動について関心をもって見ていた。

配布した資料集は第3号であり、平成28年9月～平成29年8月のCOC事業報告書である。

2. 平成29年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅰ・Ⅳの学修成果評価アンケート集計結果について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

科目Ⅰの受講学生は144名、有効回答数は88.2%。

学修成果の面で「よく理解できた」、「ほぼ理解できた」と過半数の回答を得られた。当初より肯定的な割合が増加している。受講する学生が意欲を持って取り組んでいる、授業に参加しているといえる。また、設問11で「この授業を通して地域インターンシップやCLL活動に積極的に参加してみたいか？」との問いに、「CLL活動に参加してみたい」が平成27年度は5%であったが平成29年度には44%で大きな伸びを示している。この授業の効果があつたと捉えている。

科目Ⅳは6次産業化の具体的な事例を三重銀総研の伊藤専務に講義いただいている。受講学生は60名、有効回答数は86.7%である。概ね肯定的な回答。

教授会で科目認定の成績評価が出ているが、社会人履修生1名が不合格であった。やむを得ないことと理解している。

3. 平成29年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』秋学期開講科目Ⅱ・Ⅲと「伊勢志摩共生学」について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

履修者数（平成29年8月現在）が、科目Ⅱは117名、科目Ⅲは58名。

必修である伊勢志摩共生学は、今年度から“レスポソ”というクリッカーを用いたシステムを導入し出席管理をする。スマートホンを持っていない学生については、各学科の研究室にあるアイパッドを貸し出し、または聴講券にて対応する。9月22日に第1回が始まり、ガイダンスを行う。

4. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムの行政チャンネルを利用した配信について

（H29 試行配信自治体、番組制作体制・経費の検討③）

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

①春学期 池山助教担当×玉城町⇒9月6日に収録済

本学予算で制作。玉城町の内容だが、伊勢市で放映も可能である。15分枠。

～you tubeにて①を視聴～

玉城町としての取組はよく分かった。しかし、皇學館のCOC事業としてどう関わっているのかが見えない。このテーマについては科目Ⅰで講義している。そして、CLL活動も玄甲舎を取り扱っ

ているので一言触れてほしい。今後の番組制作のうえで、同様の対応について課題としたい。

今後の予定として、

②秋学期 板井准教授×伊勢市（内容は未定）・・・本学予算で制作。見積もり額は5万円（税別）。

③伊勢志摩定住自立圏特別番組（2月放映予定）・・・伊勢市予算で制作予定。

5. その他

特記事項なし

平成29年度 第5回COC実施本部会議は、平成29年11月29日(水)に本部大会議室で開催されることが確認された。